

課 題	新規 別 継続	新規 継 続	経常・特別別	経常	担 当	開 発 箇 所	期 間	昭和 61年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
			目標との関連	ノ - ア				昭和 70年度			物件費	調査用品	標示板 ペンキ フィルム等	円	千円
目的	亜熱帯天然広葉樹林の施業方法 (天然林改良)										人件費	(基 礎 職)	() 1/2	()	()
森林資源の充実を目的とする天然林施業体系の確立をはかる											計	—			()
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分											
				実 施 計 画		実 施 結 果		評 価 お よ び 普 及 計 画							
1. 試験地設定 (1) 40m x 40mを四プロット		全体計画 1へ4の試験地 設定から除伐後の林分調査 の初年度予定分を実施。		1. 試験地の設定		・40m四方のプロットを4ヶ所設定。 ・そのプロットの中に20m四方の調 査区を設けた。									
2. 除伐実行前林分調査 (1) 相対照度調査 (2) 樹種別毎木調査				2. 除伐実行前林分調査		・相対照度調査と樹種別毎木調 査を実施。									
3. 除伐実行 (1) 3プロットにそれぞれ強度 中度、弱度の除伐				3. 除伐実行		・3プロットに強度、中度、弱度の除 伐を実施									
4. 除伐後の林分調査 (1) 相対照度調査 (2) 樹種別毎木調査				4. 除伐後の林分調査		・除伐後に再度照度と樹種 別に毎木調査を実施。									
5. この後は隔年毎に林分調査 (1) 相対照度調査 (2) 樹種別生長量調査 (3) 用伐可能木調査				5. 標示板の設置		・試験地の歩道入口に試験地 概要の標識板設置 ・それぞれのプロット入口に区分 を表す標識板設置。									

試験経過記録

区分 自主

沖縄 営林署

(様式4)

試験地設定

昭和61年9月、4プロットの区域測量を実施し、ハンキ区区域を明確にする。
区域内の調査区周囲にはナイロンテープを張り区別する。

前生林分調査

昭和61年10月、各プロットの照度及び毎木調査を実施。

調査結果

プロット	調査区	相対照度	20m×20m 区域木数	HA当り換算 本	20m×20m 区域材積	HA当り換算 m ³	平均径級	シイ本数比
1	(対)	1.6 %	375 本	9.400 本	2.07 m ³	52 m ³	5.1 cm	61 %
2	(強)	2.4	393	9.800	2.28	57	4.9	55
3	(中)	1.5	409	10.200	3.56	89	5.7	55
4	(弱)	2.0	344	8.600	1.94	49	4.8	63

樹種別本数

プロット	樹種	シイ	イジュ	イヌマキ	シャリンバイ	ユズリハ	シバニッケイ	モッコク	その他	計
1	(対)	229	1	3	6	42	23	16	55	375
2	(強)	218	8	7	12	56	22	24	46	393
3	(中)	225	12	2	3	51	48	8	60	409
4	(弱)	218	8	3	10	25	21	22	37	344

除伐実行

昭和61年11月に、^{本数比}強度除伐区は40%、中度除伐区は25%、弱度除伐区は10%の除伐を実施。

- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録

区分 自主

沖縄 営林署

(様式4)

昭和62年1月 除伐後の林分調査

	相対照度	20×20 区域本数	前林分比	20×20 区域枚数	前林分比	平均径級
1 (対)	1.1 %	399	106 %	2.11	102 %	4.5
2 (強)	12.1	249	63	1.43	63	4.7
3 (中)	4.8	310	76	2.65	74	5.6
4 (弱)	5.6	365	106	2.09	107	5.1

各プロット樹種別本数

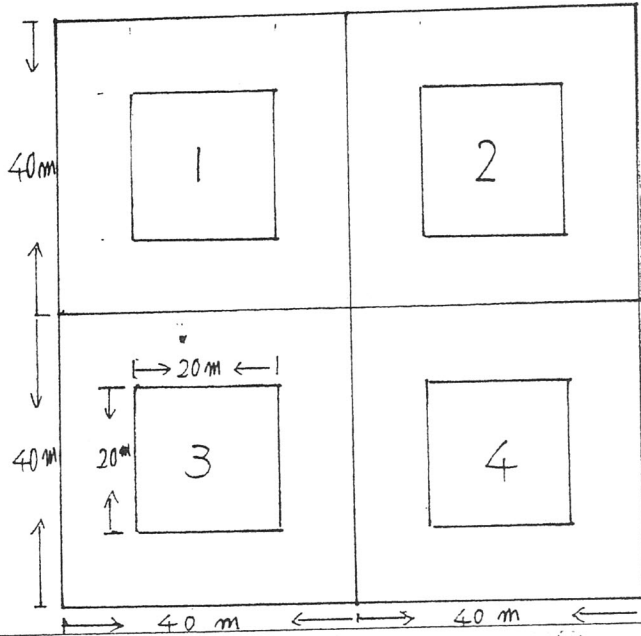
	シイ	イジュ	イヌマキ	シャリバン	ユズリハ	シビニッケイ	モッコフ	その他	計
1 (対)	241	1	4	6	47	23	18	59	399 本
2 (強)	157	7	7	5	20	12	15	26	249
3 (中)	181	8	5	6	29	35	3	43	310
4 (弱)	247	6	7	5	28	21	19	32	365

- (1) 除伐後の本数が除伐率と一致しないのは、除伐前の調査は胸高直径4cm以上の立木を調査したが除伐時に4cm以下の立木でも素性の良い立木は残り、除伐後の調査ではそれも調査木に含めたためである。
- (2) 各プロットの調査木にはナンバーテープの一連番号をガンタッカーで張り付けた。

昭和62年3月

- (1) 3プロット(中度除伐区)で除伐に起因すると思われる天然生イヌマキの稚樹の生長及び新たな発生がみられるのでこの生長も併せて観察していきたい。

試験設定図

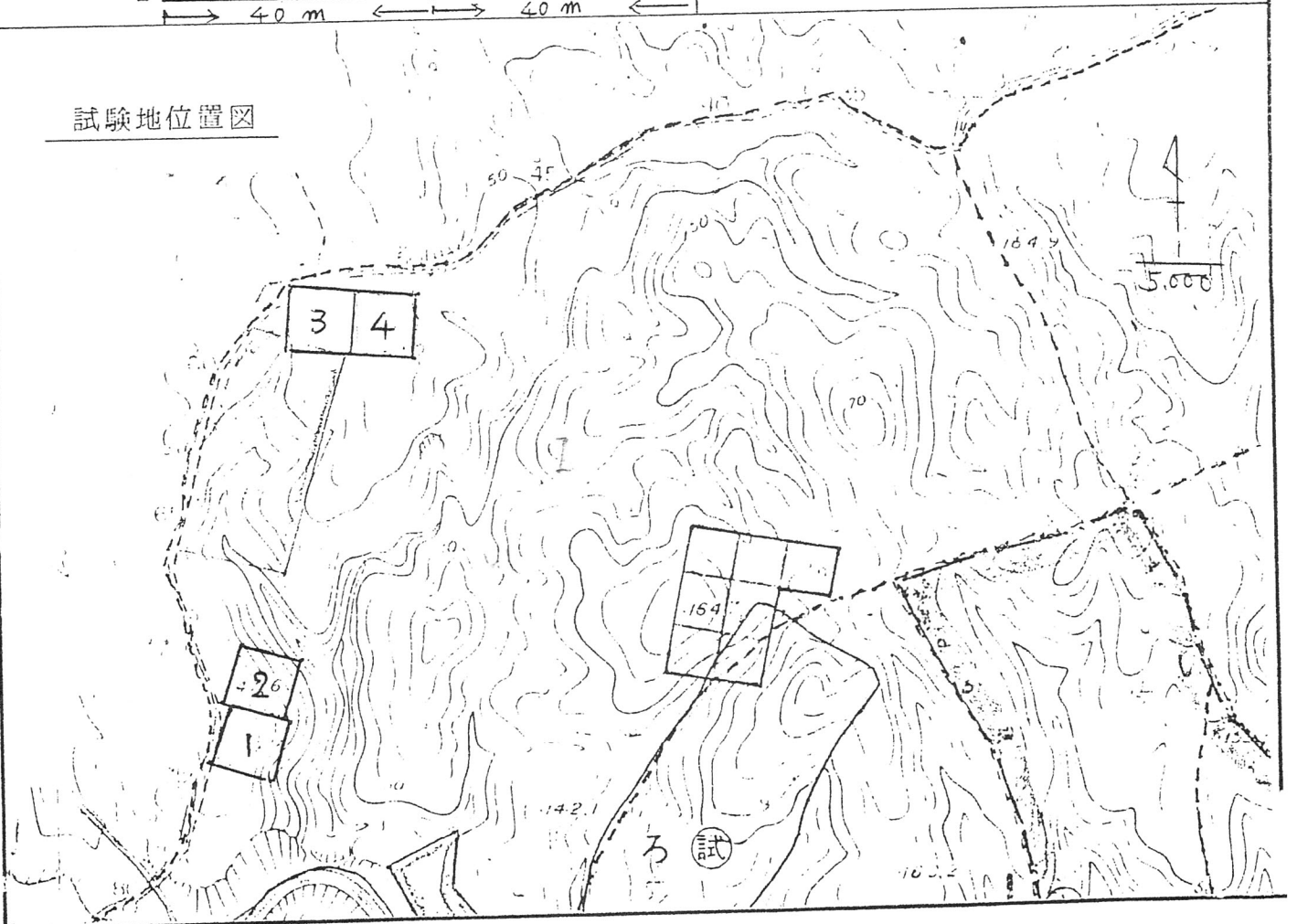


1 7°口...^ト 0.16 HA (調査区 0.04 HA)

7°口...^ト NO

- 1. 对照区
- 2. 除伐 (強度)
- 3. " (中度)
- 4. " (弱度)

試験地位置図



状 況 写 真

区 分 自 主

沖 縄 管 林 署

(様 式 6)



6.11 試 験 地 全 景



6.11 除 伐 作 業 (強 除)



除 伐 後 の 林 内 (弱 除)



左 は 試 験 地 内

状 況 写 真

区分 自主

沖縄 営林署

(様式 6)



歩道入口に設置した標示板

昭和62年度技術開発実施報告書

様式 2

課題	亜熱帯性天然広葉樹林の施業方法(天然林改良)	継続・新規別	継続	担当課	造林課	開発箇所	沖縄	期間	昭和61年度 ~ 昭和70年度
		経常・特別別	経常						
		指示・自主別	自主						
全体計画		実施報告		昭和62年度実施計画		評価および普及計画			
		昭和61年度までの実施経過を記入のこと	昭和62年度実施結果を記入のこと						
1. 試験地設定 (1) 天然林除伐実行予定箇所に設定 2. 除伐実行前林分調査 (1) 相対照度調査 (2) 樹種別生長量調査 3. 除伐実行 (1) 強・中・弱の区分 4. 除伐実行後林分調査 (1) 相対照度調査 (2) 樹種別生長量調査 5. 昭和70年度以降の継続については試験結果により決定する。		1. 試験地設定(昭和61年度) (1) 場所、平良国府林 1の林1班 (2) 面積 0.64 ha 2. 除伐前林分調査 (1) 相対照度調査 (2) 樹種別林分調査(本数・径級・樹高) 3. 除伐実行 (1) 強・中・弱の区分 4. 除伐実行後林分調査 (1) 相対照度調査 (2) 樹種別林分調査(本数・径級・樹高)	1. 隔年毎の調査のため今年度の調査なし。	1. 隔年毎の調査のため今年度の調査予定なし。					